

各報道機関 様

KJ00733104

2026年10月7日

発信課	農政部農業振興課
担当者	北野
連絡先	電 話 直通25-7438
	F A X
	E-mail nougyousinkou@city.asahikawa.lg.jp

分 類	イベント・行事【○】 募集【 】 契約・入札【 】 会議・説明会【 】 その他【 】
日 程	令和8年10月15日 9時50分 ～ 10時20分
発表項目 (行事名)	株式会社レバンガ北海道と旭川市との事業連携協定締結式について
概 要 (趣旨・日時・ 場所・内容等を 記入すること。)	本市と株式会社レバンガ北海道との事業連携協定締結式を次のとおり行います。 日 時：令和8年10月15日（木）9時50分から 9：50～10：00 旭川市とレバンガ北海道の懇談 10：00～10：20 事業連携協定締結式 場 所：秘書課第1応接室（懇談） 秘書課第2応接室（締結式） 出席者：レバンガ北海道 代表取締役 折茂 武彦 レバンガ北海道 経営企画統括ディレクター 嘉沢 剛 レバンガ北海道 フードディビジョンマネージャー 平塚 晟也 旭川市長 旭川市農政部長 旭川市農政部次長（農業振興課長） 連携協定の目的： レバンガ北海道が運営することも食堂「レバンガこどもBASE」への旭川産米の寄贈を通じて、子どもたちへの食支援及び地域貢献を行うとともに、レバンガ北海道が有する発信力やネットワークを活用して、旭川産米をはじめとした旭川産農産物の魅力や「社会貢献型旭川産農産物販路拡大事業」を広くPRし、旭川産米の認知度向上、消費拡大及び販路拡大を一体的に進める。 詳細については別添資料のとおりです。
添付資料	有 ☒ 無 ☐
報道（取材）に当たってのお願い	取材に来ていただける場合は、来庁予定人数を事前にご連絡いただきますようお願い申し上げます。なお、10月13日（火）までにご連絡いただけると助かります。
備 考	

旭川市とレバンガ北海道株式会社による事業連携協定締結式 概要

1. 令和8年10月15日(木)

9:50 ～ 10:00 第1応接室で懇談(10分程度)

10:00 ～ 10:20 第2応接室で協定締結式

2. 協定内容(簡潔に)

令和6年度から実施している「社会貢献型旭川産農産物販路拡大事業」のお米寄贈先として、レバンガ北海道が運営するこども食堂「レバンガこどもBASE」を位置付け、旭川産米の寄贈を通じて、子どもたちへの食支援及び地域貢献を行うとともに、レバンガ北海道が有する発信力やネットワークを活用して、旭川産米をはじめとした旭川産農産物を広くPRし、旭川産農産物の認知度向上、消費拡大及び販路拡大を一体的に進める。

3. 協定締結式の流れ

- ①開式(協定締結の経緯を簡単に説明)
- ②協定書への署名
- ③写真撮影(バックパネル前)
- ④あいさつ(今津市長, レバンガ北海道株式会社折茂社長の順)
- ⑤終了

4. 出席者

【相手方出席者】

レバンガ北海道株式会社

- ・代表取締役 折茂 武彦(おりも たけひこ) 様
- ・事業統括本部長 嘉沢 剛(かざわ ごう) 様
- ・フードディビジョンマネージャー 平塚 晟也(ひらつか まさなり) 様

【市側出席者】

- ・今津市長
- ・農政部 林部長
- ・農政部 杉山次長(農業振興課長)
- ・担当者 山川、北野

レバンガ北海道との事業連携について

■ 連携のきっかけ

令和 8 年 4 月 27 日、旭川食のアンバサダーである下國シェフが、ベル食品株式会社と連携し、レバンガ北海道が運営することも食堂「レバンガこども BASE（令和 8 年 3 月開設）」において食事を提供するイベントを実施した。本イベントにおいて、旭川市から旭川産有機米 60kg を寄贈し、こども食堂への支援を行うとともに、旭川産有機米のおいしさや魅力を PR した。

その際、レバンガこども BASE の担当者との意見交換の中で、こども食堂において主食となる「お米」は必要不可欠である一方、継続的にお米を寄贈する支援者が特に決まっていないことを知った。そこで、令和 6 年度から実施している「社会貢献型旭川産農産物販路拡大事業」のお米の寄贈先の一つとして、「レバンガこども BASE」を位置づけ、旭川産のお米を寄贈するかわりに、レバンガ北海道には、SNS やイベント等を通じて、旭川産米をはじめとした旭川産農産物及び当事業の PR をしてもらうことで、相互に連携・協力しながら、「こども食堂への食支援」と「旭川産農産物の PR・販路拡大」を一体的に進めていくこととした。

■ 連携協定締結式の実施

事業連携協定の締結に当たっては、株式会社レバンガ北海道代表取締役の折茂社長が来旭し、旭川市長との対談を実施する予定。その際、事業連携協定締結式を行い、その様子をプレスリリースにより発信する。なお、協定締結式の実施時期については、折茂社長の日程を確認の上、今後調整する。

■ レバンガ北海道との連携の効果

レバンガ北海道は、関連企業や多くのサポーターを有しており、情報発信力・影響力が高いことから、旭川産米の認知度向上や販路拡大における効果的な連携先となることが期待される。特に、レバンガ北海道を通じて旭川産米を広く発信することで、これまで旭川産米との接点なかった消費者等への PR につながることを期待される。

■ 協定締結後の具体的な取組

- ・旭川市からレバンガこども BASE への旭川産米の寄贈
- ・レバンガ北海道による旭川産米の魅力・おいしさの発信
- ・レバンガ北海道による「社会貢献型旭川産農産物販路拡大事業」の PR 及び寄附獲得につながる取組
- ・その他、旭川産米の認知度向上や販路拡大につながる連携の検討

■ 事業連携協定締結により今後期待されること

- ・本協定を契機として、「社会貢献型旭川産農産物販路拡大事業」の 1 事業のみの連携に限らず、様々な分野で相互に協力することにより、旭川産農産物全体の認知度向上、消費拡大及びブランド力向上が期待される。
- ・今後、農業分野にとどまらず、子育て・スポーツ等の多様な分野で連携を深めることで、

旭川市とレバンガ北海道が相互に協力し、地域の活性化や旭川の魅力発信につながる連携へ発展することが期待される。

- ・今後の連携状況を踏まえ、子育て関係部局等も含めた、レバンガ北海道と旭川市の包括的な連携（包括連携協定の締結）の可能性について検討する。

■ 補足

当初はレバンガこども BASE を主体とした連携を想定していたが、協議の中で、レバンガ北海道側から、今後の継続的な連携と連携内容の発展を見据えて「レバンガこども BASE」ではなく「レバンガ北海道」として事業連携協定書を締結したいとの申し出があった。

今回の連携協定は一事業の連携のみとなるが、これをきっかけに今後さまざまな分野で連携を進めていければ、将来的にはより幅広い連携協定や他分野にまたがる包括連携協定の締結も期待できる。